

議会だより

No.70

令和5年2月10日

たむたむ

栃木県那珂川町



テーマ(ふれあい)
大丈夫だよー!

主な内容

- 11月臨時会・12月定例会の結果
ここが聞きたい! 一般質問(8人) (2P~5P)
 (6P~13P)
常任委員会意見交換会 (14P~15P)
 (16P)
高校生との意見交換会 (17P~19P)
議会・委員会のうごき (20P)
キラリ☆まちおこし・編集後記

一般会計補正予算

まほろばの湯の源泉ポンプ改修工事費として **600万円**

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業など

1億2000万円 を補正

令和4年第7回那珂川町議会臨時会が11月8日に開会され、専決処分の承認と補正予算の2件が上程され、両議案は可決されました。

専決処分

◆ 一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

まほろばの湯の源泉ポンプについて、早急に改修工事を行うため、令和4年10月11日付けで600万円を増額した専決処分について、承認を求められたものです。
・まほろばの湯の源泉ポンプ改修工事に係る経費 600万円

【質問】 工事費600万円の内訳は。

【答弁】 ポンプ本体が約300万円、他に輸送費や交換工事費がかかる。

【質問】 外国製のポンプを使用しているが、国内製への交換は可能か。

【答弁】 外国製のポンプしか対応しておらず、国内製への交換は不可。



補正予算

◆ 一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり5万円を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金事業や、マイナンバーカード普及促進のための経費など、総額1億2000万円を増額しました。

・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金事業に係る経費 8900万円

・オミクロン株対応新型コロナウイルススワクチン接種事業に係る経費 3000万円

・マイナンバーカード普及促進事業に係る経費 100万円

【質問】 マイナンバーカード推進事業費に一般財源が充てられている理由は。

【答弁】 マイナンバーカード用写真撮影のため、国庫補助対象外のデジタルカメラを購入。

第7回臨時会(11月8日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容	議員名	議員名												
		神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	小川正典	鈴木繁	益子明美	大金市美	川上要一	小川洋一	
承認第1号 令和4年度那珂川町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号 令和4年度那珂川町一般会計補正予算(第5号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

議会改革特別委員会を設置 請願を受けて土砂条例を一部改正

令和4年第8回那珂川町議会定例会は、12月6日に開会し、会期を8日までの3日間と定め、一般質問のほか、条例の改正、令和4年度補正予算の審議などを行いました。

一般質問は8人の議員が行いました。

今期定例会には、町長提出議案16件が上程され、全ての議案が可決されました。

また、議員提案として、議員全員による議会改革特別委員会を設置しました。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

川上 弘之 氏 (再任)

3月31日をもって任期満了となる川上弘之氏(小川)を再任して、法務省に推薦することについて議会の意見を求められ、異議なく賛同しました。

条例改正

◆課設置条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

組織機構の再編に伴う、総務課・生活環境課・上下水道課の事務分掌の見直しにより、所要の改正を行うものです。



何が変わるの？

【答】 令和5年度より、総務課が所管する「公共交通部門」と上下水道課が所管する「浄化槽部門」の事務が生活環境課に移管されます。

・公共交通に関すること

総務課 ↓ 生活環境課

・浄化槽に関すること

上下水道課 ↓ 生活環境課

◆土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)

不適切な土砂等の埋立てを未然に防止するため、埋立ての許可に関する面積要件の下限値を撤廃するほか、土砂等の埋立て行為に係る土砂等の運搬などにより周辺環境に損害を与えた場合に備え、原状回復の費用を担保とするための保証金制度を規定するため、所要の改正を行うものです。

なお、今回の改正は、9月定例会にて採択された、土砂条例改正に関する請願について、請願の内容を精査し、改正されたものです。

【改正のポイント】

① 許可申請を要する土砂等の埋立て等に供する区域の面積の下限値を撤廃。

3000㎡未満の埋立ては、原則、町の許可を要する。

② 土砂等の運搬などにより周辺環境に損害を与えた場合に備え、原状回復の費用を担保するために保証金制度を導入。保証金の額は、搬入する土砂等に応じ1㎡あたり5000円。

※個人が行う宅地造成による土砂の埋立てや、町規則で定める軽易な土砂の埋立ては、従来どおり許可は不要。

◆職員の間年等に関する条例の一部改正

(賛成多数 原案可決)

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年等に関する条例について、所要の改正をしたものです。



どんな内容なの？

【答】 定年年齢を2か年で1歳ずつ引上げ、令和13年度に定年年齢を65歳とするものです。

また、組織の円滑な代謝を図るため、管理監督職務上限年齢を60歳とし、管理監督職務以外の職齢到達後、管理監督職務以外の職へ降任又は転任させるものです。

その他、給与等の措置や意思確認制度の新設などがあります。

【質問】 管理監督職務上限年齢60歳は原則だが、それ以降も役職を続けられるのか。

【答】 例外は、高度の知識や技能及び経験が必要な職務。当町職員は一般行政職であり、例外規定は該当しない。

◆ケーブルテレビ施設条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)
光化整備によるサービスや機器等の変更、提供サービスの変更や消費税のインボイス制度適用によるサービスの利用料等について、所要の改正を行うものです。

◆奨学金貸与条例の一部改正

(全員賛成 原案可決)
奨学金利用対象条件を緩和し、利用者の増加を図るとともに、那珂川町への定住を促進するため、所要の改正を行うものです。

補正予算

◆一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)
物価高騰に対する支援として、子育て世帯に商品券を発行する事業や、食料品の価格高騰に伴い町内の障害者福祉施設及び介護福祉施設に交付金を交付する事業、各公共施設の電力高騰に伴う電気料の増額分、人事異動に伴う職員人件費など、補正額1億9200万円を増額し、総額86億9300万円となりました。

・障害者福祉サービス事業に係る経費 4200万円

・急傾斜地崩落対策事業に係る経費 1846万円

・子育て世帯家計応援商品券発行事業に係る経費 1486万円

・総合体育館屋根防水改修工事に係る経費 760万円

・介護施設等物価高騰対策事業に係る経費 550万円 など

質問 小学1年生から高校3年生の子どもを持つ子育て世帯に対し、子ども1人当たり1万円交付されるが、商品券で交付する理由は。

答弁 地域経済の活性化や地域振興を図るため、あえて商品券での交付とした。

◆介護保険特別会計補正予算

人事異動に伴い、職員人件費、200万円を減額しました。

◆下水道事業特別会計補正予算

電力高騰に伴う下水処理施設の電気料増額分など、600万円を増額しました。

◆農業集落排水事業

特別会計補正予算

電力高騰に伴う水処理施設の電気料増額分など、350万円を増額しました。

◆水道事業会計補正予算

電力高騰に伴う施設の電気料増額分など、2340万円を増額しました。

(いずれも全員賛成 原案可決)

令和4年度 一般会計及び特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	8,501,000	192,000	8,693,000
介護保険特別会計	2,001,300	△2,000	1,999,300
下水道事業特別会計	309,000	6,000	315,000
農業集落排水事業特別会計	49,000	3,500	52,500
水道事業会計	697,600	23,400	721,000

議員提案

◆議会改革特別委員会の設置

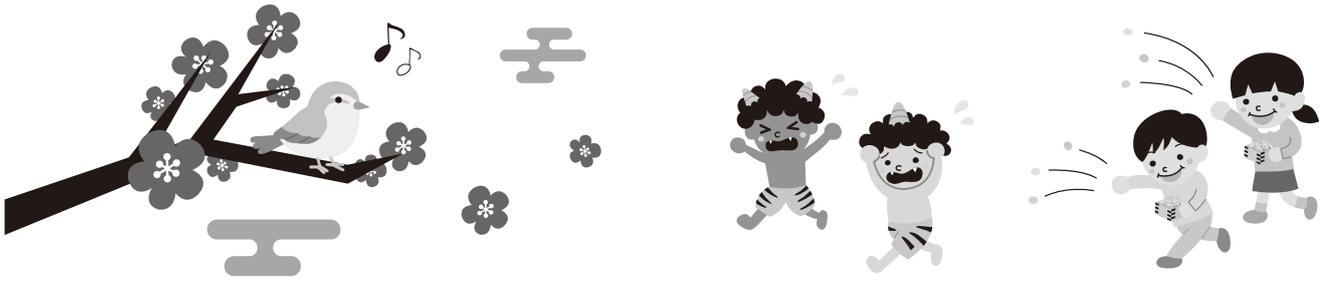
(全員賛成 原案可決)

町民の負託に応える議会となるため、新しい時代に即した議会のあり方などを調査検討し、議会活動の充実・強化を図るとともに、町民に開かれた議会とすることを目的に、議員全員を委員とする議会改革特別委員会を設置しました。

また、時代に即した議会基本条例の検証などを行う小委員会と、議員定数や報酬などの検証を行う小委員会の、2つの小委員会を設置し、議会改革に向け調査検討を進めることとなりました。

委員長 大金市美
副委員長 鈴木 繁





第8回定例会(12月8日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	小川正典	鈴木繁	益子明美	大金市美	川上要一	小川洋一
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町課設置条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町職員の定年等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第4号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	那珂川町職員の給与に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	那珂川町ケーブルテレビ施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	那珂川町税条例等の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	那珂川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	那珂川町奨学金貸与条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度那珂川町一般会計補正予算(第6号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和4年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和4年度那珂川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和4年度那珂川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和4年度那珂川町水道事業会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	議会改革特別委員会の設置について	議員提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会改革特別委員会の閉会中の継続調査について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※益子純恵議長は採決に加わりません。

一般質問！ 大金 清 議員

物価高騰に対する町の支援策は

(町長) 学校給食費の半額補助や

水道料金の基本料金減免などを実施



大金 清 議員

物価高騰への対応策

質問 物価高騰の状況は。

答弁 電気・燃料・食品問わず様々なものが価格高騰しており、町民生活に不安を与えている状況。

質問 物価高騰に対する支援策は。

答弁 11月補正までに、農業用燃油・資材等高騰対策事業や中小企業支援事業、子育て世帯家計応援商品券事業など、6事業を実施。12月補正で、介護施設及び障害福

- Q 物価高騰への対応策について
- Q 公共施設のトイレにおけるサリタリーボックス及び生理用品の設置について
- Q 新型コロナウイルスワクチン接種の状況と感染症の対応策について

置。生理用品について、近隣市町での設置はなかった。

質問 公共施設の男性用トイレにサリタリーボックスの設置を。

答弁 県内市町の動向を見ながら検討したい。

質問 生活困窮に伴い、生理用品が買えない人がいる。近隣市町に先駆けて実施を。

答弁 県内市町の状況を見ながら検討したい。

質問 小・中学校の女性用トイレへの生理用品設置は。

答弁 小・中学校においては、生理用品は保健室で配布している。今後は、状況に応じて対応したい。

※男性用トイレへのサリタリーボックス設置

前立腺がん・膀胱がんの治療後や加齢による症状などにより、日常的に尿漏れパッド等を使用する方のため、男性用のトイレに、使用済みの尿漏れパッド等を廃棄するためのサリタリーボックスを設置する動きが広まっています。

新型コロナウイルス感染症第8波

質問 生後6か月から4歳の子どもへのワクチン接種が努力義務となったが、今後の接種計画は。

答弁 1回目接種後、3週間空けて2回目を受け、8週間空けて3回目を接種する。接種券を11月から発送、町内の2つの医療機関で個別接種を開始。

質問 オミクロン株対応ワクチン接種の推進を。

答弁 対象者の約1万2400人全員に、最終接種日から3か月経過を目的に接種券を発送している。感染症の同時流行への注意を促すチラシも全戸配布した。

質問 新型コロナウイルス感染症第8波へ向けての対応策は。

答弁 基本的な感染予防対策の徹底呼びかけ、インフルエンザワクチンとオミクロン株対応ワクチンの接種を推進、町民に周知を図る。

一般質問！ 益子明美 議員

Q 図書館における地域活性化について
Q 地域医療の確保対策について

町の活性化と発展に寄与する

時代に合った図書館の新設を

(町長) 令和7年度までに新設も視野に入れて検討し

整備計画を策定する



益子明美 議員

む姿勢を育んでいく。

質問 町の図書購入費は年間約500万円而他市町と比較して少ない。那須烏山市は1500万円、茂木町は800万円。図書購入の予算を増やし図書館利用促進に努めるべきでは。

答弁 本町の図書購入費が少ないことは認識している。予算編成の中で増額できるのか検討する。

質問 第3期子ども読書推進計画の中で、小中学生が図書室や図書館を利用しない理由として読みたい本がないという調査結果があるが、どのように対応するのか。

答弁 今年度、各学校の図書室と図書館が連携し相互交流を進めている。どのような本を求めているか、ニーズを的確に把握し図書資料の充実に努め、ソフトとハードの両面の充実を図り読書に取り組

質問 町公共施設等総合管理計画において、馬頭図書館の管理における基本的な方針は、建替え、他施設との複合化、図書館の統合など、その機能を保持しつつ、いかに利用者の安全を担保するか検討するとしているが、どのような検討がされてきたのか。

答弁 生涯学習推進計画第3期中で、令和7年度までに社会教育施設整備計画策定を目標とした。馬頭図書館については、社会教育

施設として総合的に検討する。

質問 図書館はいまや町のシンボル、文化の拠点、町の活性化と発展に寄与する重要な拠点施設である。町中心部の活性化の核となる複合施設として、図書館を新設すべきでは。

答弁 町の社会教育施設の1つである馬頭図書館と小川図書館は、合わせて年間3万3千人の利用者があり、町の活性化の一翼を担う施設である。令和7年度までに整備計画を検討する中で先進地にも足を運び、新設も視野に入れて検討する。



施設の老朽化が懸念される馬頭図書館

地域医療の確保手段として オンライン診療の対応を

質問 町内の診療所医師より新たな診療所の設置の必要性を要望されていたことから、昨年6月の一般質問で町の考えを質した。町長は町医師会と話し合いをしましたが、どのような話し合いがされたのか。また、いつ話し合う予定か。

答弁 コロナワクチン接種が落ち着く2月から3月頃をめどに、町医師会と協議できるように準備を進める。

質問 オンライン診療で、患者のそばに看護師がいて医師が遠隔で看護師に指示を出し処置を行うという、Dtop with N型オンライン診療が町のどこでも受けられるよう、ケーブルテレビ光化の中で整備をすすめるべきでは。

答弁 医療関係者とともにどのような対応が可能か、調査・研究していく。

一般質問！ 福田浩二議員

Q スクールバスの安心安全な運行と老朽化対策について

新しいスクールバスの買い替えを

(教育長) 更新計画等を策定し、計画的に更新する



福田浩二 議員

質問 過去に、スクールバスの車内に児童生徒が置き去りにされたという事例はあったか。車内への置き去り防止対策は。

答弁 当町においては、合併から現在まで、児童生徒の置き去り事案が発生したとの報告はない。置き去り防止対策として、乗務員による目視点検と、降車時に教職員による誘導点検を行っている。

質問 今までに、降りなければならぬところで降りずに乗り過ごしてしまつた児童生徒はいたか。

答弁 過去に乗り過ごしてしまつた児童がいたということは承知している。学校によっては、降車場所に保護者がいない場合、安全のために、降ろさずに学校まで連れて帰るといった体制を取っている学校もあると聞いている。

質問 車内へ置き去りにされた場合にクラクションを鳴らして知ら

せるなどの方法を、児童生徒にも教えているか。

答弁 窓を開けて声を上げるなど指導している学校もある。学校では、朝のうちに、登校していない児童生徒の保護者に連絡をして、出欠確認を徹底している。乗務員も、降車後にスクールバス内の確認を徹底している。

スクールバスの現状と

今後の対策

質問 一番古い平成12年のスクールバスは、シートが破れ、床も損傷していた。乗務員が補修を行っているが、安心安全の基準に反しないか。

答弁 不具合があった場合には、その都度修繕し、運行している。

質問 22年間使用しているスクールバスについて、当町の安全の基準では、あと何年乗れるのか。

答弁 運行の状況や走行距離により一概にはあと何年という年数では区切れないが、計画的に更新していく。

スクールバスでの安全対策

質問 各小中学校におけるスクールバスの乗車基準となる学校からの距離と、スクールバスを利用している人数は。

答弁 馬頭地区の小学校では、おおむね1キロメートル以上、小川小学校では、おおむね2キロメートル以上、馬頭中学生では、おおむね4キロメートル以上。利用者は、小学校が329名、中学校が71名。



計画的な更新が望まれる

質問 5年後、10年後の児童生徒の人数の推移は。

答弁 5年後の児童数は369人、生徒数は251人となる見込み。10年後の児童生徒数は、さらに減少すると見込まれている。

質問 児童生徒の減少によりスクールバスの台数減が想定されるが、その分、スクールバスの乗車時間や乗車距離が増えるのでは。

答弁 スクールバスが減ると運行範囲が伸びることは考えられるが、その際には、乗車時間や距離などを考慮する。

一般質問！ 矢後紀夫 議員

Q 運転免許証返納後の移動手段確保とデマンドタクシーの充実について

運転免許返納後の移動手段確保と

デマンドタクシーの充実は

(町長) 今回策定する地域公共交通計画に基づき

内容の充実に取り組む

なっている。高齢者の移動手段確保について町公共交通会議で協議し、公共交通網の維持に努める。



矢後紀夫 議員

運転免許返納の移動手段確保

質問 運転免許返納後の移動手段の不安から返納を躊躇されている方もいると思うが、交通移動手段は確保されているか。

答弁 公共交通の基幹路線として、町内と隣接自治体へはコミュニティバスと民間バス2路線が運行し、町内の移動にはデマンドタクシーが1日6便運行され、生活に必要な施設54カ所で下車可能と

内容の充実に取り組む

なっている。高齢者の移動手段確保について町公共交通会議で協議し、公共交通網の維持に努める。

質問 公共交通に関する町民アンケートの結果は、那珂川町公共交通計画にどう反映されるのか。

答弁 今回、住民や利用者の移動についてのニーズ調査を実施した。調査結果をふまえ、公共交通の課題を検証し、今後の取組方針や目標を協議、計画に反映させたい。

質問 デマンドタクシーの利用者数増加と収支率向上に向けての取り組みは。



答弁 デマンドタクシーの運行開始から12年が経過。乗降場所を当初の34カ所から54カ所に増やしたり、大田原市デマンドタクシーとの接続など、利便性向上に努めてきたが、利用者数、収支率とも低下している状況。デマンドタクシーの利用方法についてPRビデオを放送するなど、今後もPR活動や利便性向上に取り組む。

質問 デマンドタクシーを利用する際、町外の方でも、別料金などにより、介添以外の目的で同乗することはできないか。

答弁 町民の生活上の移動手段として運行しており、町民以外の利用は想定していない。今後検討したい。

デマンドタクシーの充実

質問 高齢化に伴い運転免許返納者は必ず増える。返納後の移動手段としてデマンドタクシーを有効利用するため、車両の増車や運転手の拡充なども視野に入れるようでは。



答弁 運行の増便については、車両台数を増やしたり、運転手の確保が課題となってくる。利用しやすい環境の整備も必要。

質問 運転免許自主返納者の増加に伴い、移動手段としてのデマンドタクシーが重要視されると考えられるが、デマンドタクシー充実に向けての町の考えは。

答弁 これまで乗降場所の追加やコミュニティバスへの乗り継ぎなど、利便性向上に取り組んできた。今後も利用者の要望に応え改善策を検討、今回策定する地域公共交通計画に基づき、内容の充実に取り組む。

一般質問！ 神場圭司 議員

Q プロスポーツチームとの提携による地域振興について

栃木サッカークラブとの

地域支援パートナー協定の締結を

(教育長) 現在のところ、協定を結ぶ予定はない



神場圭司 議員

質問 子どもたちへのスポーツ指導などにおいて、各分野のプロスポーツ選手を招いての教室を実施したことがあるか。

答弁 町の野球連盟が主催した、合併10周年記念事業としての元プロ野球選手10名を招いた野球教室や、町が企画している八溝山周辺地域定住自立圏事業での、元プロ野球選手・元プロサッカー選手・事業団ソフトボールチームによる教室などが実施されている。



質問 プロスポーツチームや個人への協賛・支援を実施することにより、町のPRにつながるなど、町へのメリットが大いにあると考えるが。

地域支援パートナー協定

答弁 プロスポーツチームなどへの協賛金や支援金について、今後、必要であれば検討する。

質問 栃木サッカークラブとの地域支援パートナー協定※について、県内の自治体における協定の締結状況は。

答弁 栃木県のほか、県内6市4町が協定を結んでおり、近隣市町では、さくら市がパートナー協定を締結している。

質問 町のPR活動として、また、町民がプロのスポーツを身近に感じ、接する機会の創出のためにも、栃木サッカークラブとの地域支援パートナー協定を結ぶべきでは。

答弁 現在のところ、教育委員会としては、栃木サッカークラブとの協定を結ぶ予定はない。プロの選手からふるさと納税などをいただいたことはあるが、支出した実績はない。皆さんや子どもたちが頑張り、それによって那珂川町からサッカーを発信するという機運ができれば可能かなと思っている。

※地域支援パートナー

「リーグと栃木サッカークラブの理念に賛同し、栃木SC支援並びに協働と互恵の精神のもとに連携を図り、栃木SCが目指す豊かなスポーツ文化の醸成の実現及びスポーツの持つ力で地域の発展に寄与することを目的に、パートナー契約を締結した自治体を「地域支援パートナー」と称しています。

(栃木サッカークラブHPより)

スポーツによる町のPR

質問 多くの方に那珂川町を知ってもらうため、どのようなPR活動を行っているか。

答弁 ほかの団体が主催するスポーツイベントの講演のほか、イベント会場に向き町のPRに努めている。このほか、町で実施するスポーツイベントの情報を新聞社などに提供、広く町のPRにつなげている。

一般質問！ 高野 泉 議員

Q 活力をおこすまちをつくる6次産業化の振興について

食と農の拠点施設に持たせる機能は

(町長) 規模や内容を再考した上で段階的な整備も必要



高野 泉 議員

6次産業化の振興

質問 食と農の拠点整備事業の、事業開始に向けての計画は。

答弁 那珂川町農産物等加工販売推進協議会を設立し、農産物調査や研修会等を実施した。今後、施設整備の実施計画、実施設計、施設整備工事を経て、令和7年度に事業の運営開始を計画している。

質問 食と農の拠点整備事業の取組状況と課題は。
答弁 現在、協議会の事業を進め

るとともに、コンサルタントに委託して加工する農産物や加工品の消費者ニーズ及び販路等の調査を行い、基本計画の策定を進めている。施設の管理や運営する事業の実施主体の育成が遅れていることや、整備する施設の規模と内容が課題。当面は、民間事業者等の参入も視野に入れていくことを検討している。規模や内容を再考した上で、段階的に整備することも必要。

質問 農産物等加工販売推進協議会の設置目的と活動状況は。



食と農の拠点施設 「那珂川Base」

答弁 町の農林漁業者が戦略的に加工品の開発・製造・販売が行えるよう勉強会や調査研究を行い、地域資源の活用及び所得向上を図るとともに、食と農の拠点事業と連携を図り、地域の活性化につなげるのが目的。6次産業化の実践に向け、先進地の講師を招いての研修会の開催や、近隣の加工施設の視察等を実施している。

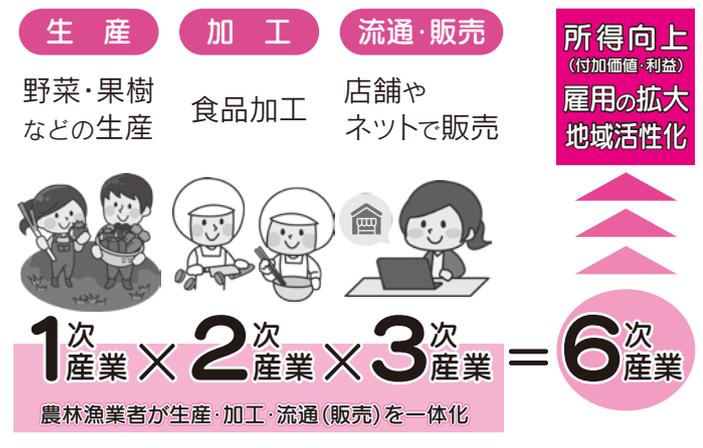
質問 加工を検討している農産物の種類は。

答弁 ゆず、ブルーベリー、ぶどう、ニンジン、さつまいも、タケノコ、お米を原材料とした加工品を検討している。

質問 事業の運営主体と組織の概要は。

答弁 農業者主体による加工販売組織を検討しているが、民間事業者への指定管理による委託も視野に入れ検討する。当面は施設の貸出し等の維持管理を町が行うことを想定している。

質問 食と農の拠点施設「那珂川Base」について、農産物の加工品開発・製造・販売以外にどのような機能を持たせるのか。
答弁 基本構想の段階では直売所や交流体験施設等を含んだ複合施設を計画していたが、規模や内容を再考した上で段階的な整備が必要と考えており、当初の段階では整備を優先したい。どのような機能を持たせるか、今後検討する。



一般質問！ 川俣義雅 議員

- Q 飼料高騰対策について
- Q シルバー人材センターへの補助の拡充について
- Q 「世界平和連合栃木県連合会」への祝電について

世界平和連合栃木県連合会への

町長祝電費用の返金と町民への説明を

(町長) 返金も説明も考えていない



川俣義雅 議員

飼料高騰への対策

質問 飼料高騰による当町の畜産農家への影響は。

答弁 値上がりによる畜産経営の圧迫が危惧される。

質問 農業用燃油等の高騰対策同様、飼料高騰に特化した補助を行うべきでは。

答弁 国と連携をとりながら検討する。



質問 濃厚飼料も地産地消が必要では。

答弁 対応する必要がある。

質問 飼料の地産地消を進めるためにも、町が主体の受託組織が必要では。

答弁 町が主体の受託組織は困難だが、先進事例を勉強したい。

Q 飼料高騰対策について

Q シルバー人材センターへの補助の拡充について

Q 「世界平和連合栃木県連合会」への祝電について

シルバー人材センターへの補助

質問 シルバー人材センターの会員になる動機に変化はあるか。

答弁 収入を増やしたいなどの動機はあると思うが、変化は把握していない。

質問 インボイス制度が実施された場合の影響は。

答弁 免税業者である会員はインボイスを発行できないので、センターが消費税を払うことになり、事業の衰退が懸念される。

質問 センターへの補助金の増額は。

答弁 新たに納税する消費税分については、業務発注者であるセンター利用者に負担いただき、町補助金の増額は考えていない。

世界平和連合栃木県連合会への

町長祝電

質問 祝電を打った経緯は。

答弁 要請を受け、旧統一協会の

関連団体との認識はなく祝電を打った。

質問 祝電の費用はいくらで、出所は町の予算からか。

答弁 2013円で公費から出ている。

質問 町民に説明しなければならぬと思うがどうか。

答弁 結果的によろしくないというので、町民にはお詫び申し上げます。

質問 祝電の費用は妥当な支出だと言えるか。

答弁 妥当な支出だと考える。

質問 祝電費用を返還する意思があるか。

答弁 返還する意思はない。

質問 町民に経緯と今後の対応を説明する意思は。

答弁 説明するつもりはない。

一般質問！ 川上要一 議員

Q マイナンバーカードについて
Q GIGAスクールと児童生徒の健康について

マイナンバーカードをほかのサービスに活用する考えは

(町長) 先進自治体の導入事例を参考に調査研究する



川上要一 議員

活用する考えは

答弁 集客施設での出張申請のほか、町内6局の郵便局と協定を結び、マイナンバーカード申請支援業務を開始する。申請促進の広報については、町内の行事や事業と連携して周知していくほか、小中学生や保護者向け案内、新卒者向け案内など年代に合わせた周知を行う。

マイナンバーカードの 取得促進と活用方法

質問 マイナンバーカードの取得件数が伸びない状況だが、課題は。

答弁 若年者層には必要性、利便性、活用方法などが浸透しておらず周知が必要であること、高齢者層については申請手続きの支援の機会を多く確保し充実させることが課題。

質問 今後の更なる取得促進策は。

質問 マイナンバーカード取得後の個人情報等のセキュリティは万全か。

答弁 本人確認は顔写真との照合が義務であり、なりすまし防止になる。基本情報以外の個人情報はカードには記録されない。不正に情報を取り出そうとすると、カードのICチップの機能が無効になる仕組み。

質問 マイナンバーカードをほかのサービスに活用する考えは。

答弁 コンビニ交付サービスが開始し、役場の閉庁時にも住民票等の証明書が発行できるようになる

た。今後は、印鑑登録証、図書館カード、選挙入場受付など、先進自治体の導入事例を参考に調査研究していく。



GIGAスクールと 児童生徒の健康

質問 子どもから大人まで、多くの方がスマホ依存症と言われ、児童生徒の健康に関する報告も出ています。当町の児童生徒に関して、健康等への影響を調査しているか。

答弁 毎年学校で実施している健康診断において視力等を測定し、スマホ等の長時間利用による視力

低下など身体への影響を把握している。長時間の利用による運動不足も想定され、体力低下が懸念されるが、学校で実施している体力テストにおいて、児童生徒の体力や運動機能の現状を把握している。

質問 GIGAスクールを推進する中での児童生徒の健康対策は。

答弁 健康診断において視力低下等が認められた児童生徒には受診勧奨をし、受診後、早期の治療を促している。学校で利用する際は、文部科学省のガイドブックの内容に基づき、教室の明るさや正しい姿勢等に留意し、長時間とならないよう適切な利用に努めている。児童生徒及び保護者に対しては目と画面を30cm以上離して使うことや情報モラル等の注意喚起を行っている。家庭における使い方についても、リーフレットや保護者研修会を通じてノーメディアデーの実施や各家庭でのルールの取り決めの必要性を知らせ、適切な利用の啓発と協力をお願いしている。

農産物直売所連絡協議会との意見交換会 シルバー人材センター

常任委員会から意見要望書を提出

昨年11月に実施した関係団体との意見交換会の成果として、総務産業・教育民生の両常任委員会からの意見をまとめ、12月27日、正副議長から町長に意見要望書を提出しました。



常任委員会の 意見交換会

各常任委員会において、関係団体との意見交換会を開催しました。特定の目的をもった団体のため、深まった意見交換となり、団体の抱える課題や町政への提言要望が出され、各常任委員会としても認識を新たにしました。

農産物直売所連絡協議会

高齢化による 会員の減少が課題

11月16日、総務産業常任委員会（川上第一委員長ほか委員6名）が、那珂川町農産物直売所連絡協議会の小高会長ら5名と、「農産物直売所の現状と課題」をテーマとして意見交換を行いました。会員の高齢化が進んでいることや、コロナの影響により売り上げが落ちていること、来客が少なくギリギリで営業をしているなど、現状や課題について話がありました。

主な意見

- ▼ 会員も高齢化している。組合に加入したいといっても60代後半。
- ▼ コロナの影響で、売り上げが落ちている。
- ▼ この1、2年で資材の高騰もあり、値段を上げるか考え、量で調整し同じ金額で販売している。
- ▼ 直売所は販売の場の提供、生産者が交代で店番をしているが無報酬。
- ▼ 直売所によって客層が違う。
- ▼ 20年以上前から高齢化の問題があり、一組合だけで解決できない。
- ▼ 午前中は客あるが、午後はほぼいなく、売り上げがギリギリの状態で、営業を続けられるか見通せない。
- ▼ 価格設定は、大手スーパーに卸す関係でマージンを少なく設定して直売所で販売している。量販店の力が強くなり、生産者が弱くなった。
- ▼ 認定子ども園や給食センターに納入するには、安定供給もあり年間通じては難しい。



農産物直売所連絡協議会と意見交換



会員の確保が課題

11月15日、教育民生常任委員会

(益子明美委員長ほか委員5名)

が、公益社団法人那珂川町シルバー人材センターの小川理事長ら3名と、「業務内容の現状と課題」をテーマとして意見交換を行いました。

会員数が減少していることや、女性の加入率が低いこと、インボイス制度への対応など、現状や課題について話がありました。

主な意見

▼令和2年度末の会員数は、平成24年度末と比較して約20%の減、男性が概ね6割を占めている。

▼令和2年度末会員は、年齢層別で70歳以上の会員は109人と比べており全体の64・1%を占めている。会員の平均年齢は、上昇傾向にある。

▼受注件数は、平成28年度と令和2年度を比較して25・2%減。

▼65歳から70歳ぐらいの若年層の

会員確保に努める必要があるが、企業等における70歳までの就業機会確保措置があり高齢者の労働環境の多様化をもたらすため、会員の確保・拡大を進めるためにはこれまで以上の努力が求められる。

▼女性の加入率が低い。働きたいという高齢の女性もいるかと思う。職種が合わず加入につながらないことがある。

▼センターによつては、独自事業をやっている所もある。収支的に考えると難しいところもある。幅広い仕事がある。独自の事業もできれば継続的にできる。

▼公共の受注件数が大きく落ちている。コロナ禍による公共施設の使用制限により休日や夜間の管理業務が減った。

▼赤字となっている年度があることから、公益法人は収支相償の原則があるとはいえ、組織は黒字であつての健全な組織、安定した財政運営のため、一層の技術経営が求められている。

※ 第1次中期計画を資料としたため、令和2年度の数値となっている箇所があります



福島町長に意見要望書を提出



シルバー人材センターと意見交換

農産物直売所連絡協議会

について

高齢化による会員の減少、農業後継者の育成、集客に苦慮している状況を鑑み、以下のことについて要望する。

① 新型コロナウイルスの影響や近隣施設の休館などで、客足が減少し売り上げが落ちている。農産物直売所の集客を上げられるように支援に努められたい。

公益財団法人シルバー人材センターについて

経営等の自助努力は必要だと感じるが、定年退職年齢の引き上げ等の影響により会員確保に苦慮している状況を鑑み、以下のことについて要望する。

① 会員の減少が続いていることから、町や関係機関においても、会員募集と活動内容の周知について支援に努められたい。

② シルバー人材センターは、公益法人としては収支相償であるが、安定した財政運営が求められている。財政面の安定が図られるように支援に努められたい。

③ 女性会員を増やすため、女性ができる業務の委託について研究されたい。

10月25日(火)生徒会役員13名と

馬頭高校生 との 意見交換会



テーマ
聞かせて。「私」が考える町づくり



10月25日、高校生に議会を身近な存在として理解してもらい、政治への関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、昨年度に続き2回目となる、高校生との意見交換会を開催しました。

参加したのは、馬頭高校の生徒会役員13名と町議会議員13名。事前に、全校生徒に町づくりに関するアンケートを実施し、そのアンケート結果を参考に、議員から高校生に質問する形で意見交換を行いました。

【高校生の意見】

Q 人口減少対策として必要なことは？

A 交通網の充実や、安定して働ける場所の確保。

Q 皆さんが考える観光対策は？

A 若い人の目に留まるような効果的なSNSの発信が重要。

Q 地元に住み続けるために必要なことは？

A 学校・病院の無償化や、子育て支援制度の充実。

意見交換の最後には、各班の高校生の代表者から、意見交換のまとめを発表していただきました。

【高校生の感想】

・自分たち高校生の意見を直接話せることで、政治に関心を持てるし、光栄に思う。

・このような意見交換会を頻繁に行い、町の良さを討論したい。

・若者にもっと情報発信をしてみたい。若者が戻れるような町づくりをお願いしたい。

次代を担う若者に、「住みやすい」「住み続けたい」と思われる町にしなければならぬと、議員一同感じました。若い世代の生の声を聴くことができ、大変有意義なものとなりました。

参加した高校生の投稿が下野新聞に掲載されました。

【令和4年11月16日 下野新聞】
読者登壇 10代の声 より

町議と意見交換

今後開催して

小林 寛明(3年生)

先月末、町議と高校生による意見交換会に参加しました。昨年に続き2回目の開催となり、今回は「聞かせて。『私』が考えるまちづくり」のテーマで討論が行われました。

那珂川町の人口減少対策やどのような町に観光客を招くかなどをグループ内で意見を交わしました。私たち高校生の意見がこれからの那珂川町に大きく関わってくることを自覚しました。

意見交換会に参加して感じたことは、この会に参加する前は、町づくりや議会などにあまり関心がありませんでした。実際に参加し、議員の皆さんが真剣に私たち高校生の意見に耳を傾けてくれたことが、とてもうれしかったです。このような意見交換会は、これからは数多く開催しても良いのではないかと強く感じました。

エコグリーンとちぎ 工事現場視察



工事の進捗状況について説明を受ける

12月16日、全議員で県営処分場「エコグリーンとちぎ」の工事現場及び北沢不法投棄地を視察しました。

栃木県資源循環推進課職員と施業者から工事概要や進捗状況などの説明を受けた後、工事現場に移動し現場視察を行いました。

その後、北沢不法投棄地に移動し、現場を視察しました。

【現場見学会での質疑の内容】

(過去の分も含む)

質問 使用している改良土の安全性は。

答弁 「土壌の汚染に係わる環境基準」に基づき、カドミウム等の計量を実施し、基準を満たす製品を使用。購入した盛り土材は、埼玉県エコリサイクルソイル約1万4000㎡と栃木県ユニ・ソイル約1万1000㎡。



北沢不法投棄地で説明を受ける

質問 中間柱が基本設計より減っているが構造上安全なのか。

答弁 基本設計28本に対し、実施設計では16本。梁構造の変更により設計変更したが、第3者機関の検査で合格した結果をふまえ、建築基準法の許可を頂いている。

質問 防災調整池の設計雨量は。

答弁 開発行為等の許可基準に基づき30年に1度の大雨を想定し、時間雨量80mmで設計している。



掘り出された不法投棄物の一部

県町村議会議長会 議員研修に参加

11月22日、県総合文化センターにおいて、栃木県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会に、全議員が出席しました。

県内11町議会から議員が出席し、大正大学社会共生学部公共政策学科教授、江藤俊昭氏から『議員報酬・定数・政務活動費を考える意義と手法―「住民自治の根幹」としての議会の作動―』と題して講演が行われました。



議員研修会の様子

《常任委員会の経過》

総務産業常任委員会

開催日 11月8日

地域交通計画の策定について総務課から、分譲宅地整備計画(案)、及び、ケーブルテレビサービス利用料の改訂について企画財政課から、それぞれ説明を受けました。

開催日 11月16日

那珂川町農産物直売所連絡協議会と、農産物直売所の現状と課題について、意見交換を行いました。(P14参照)

開催日 12月7日

11月16日に実施した、農産物直売所連絡協議会との意見交換会のまとめを行い、町に意見要望書を提出することに決定しました。

教育民生常任委員会

開催日 11月8日

奨学金貸与条例の見直しについて、学校教育課から説明を受けました。

開催日 11月15日

公益社団法人那珂川町シルバー人材センターと、業務内容の現状と課題について、意見交換を行いました。(P15参照)

開催日 11月21日

土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について、生活環境課から説明を受けました。

開催日 12月7日

11月15日に実施した、シルバー人材センターとの意見交換会のまとめを行い、町に意見要望書を提出することに決定しました。

《特別委員会の経過》

議会改革特別委員会

開催日 12月8日

12月定例会において、正副委員長を互選しました。
また、小委員の設置や、今後の委員会の進め方について協議しました。

議会広報モニターから

ご意見をいただきました

令和4年11月から新たに5名の方に議会広報モニターを委嘱し、読者目線で、議会だよりに対する様々なご意見をいただきました。ここでは、モニターからいただいたご意見ご感想の一部と、広報委員会のコメントを紹介します。

小・中学生向けの議会だより「町議会って何やってるの?」などを作ってみてはどうか。

委員会より…

重要な意見として、今後、検討させていただきます。

定例会の内容が全て併記されているため、少し読みにくく感じる。町民にとって重要な事を、目立つように掲載できないか。

委員会より…

町民の皆さまに何を伝えるべきかを考え、努力していきます。

会議や視察時のマスク着用の写真は仕方がないが、一般質問のページの議員写真は、マスクを外した方がよいのでは。

委員会より…

ご意見を基に、全議員で協議いたします。

定例会以外の視察や会議の様子に関する記事について、具体的な内容も書けないか。

委員会より…

要望に応えられるよう、内容の充実に努めます。

議会だよりの中に「請願・陳情の提出の仕方」について掲載してもらえないか。

委員会より…

今後、請願・陳情についての問合せ先や提出方法について掲載します。

モニターからいただいた貴重なご意見を検証し、もっとわかりやすく読みやすい広報紙づくりに活かしていきます。

議会広報特別委員会

表紙について、毎号、テーマに合った微笑ましい写真が使われている。裏表紙のキラリまちおこしも、様々な方がなかちゃんとの対話形式で紹介され、堅苦しいイメージになりがちな議会だよりに親しみがもてるよう工夫されている。

議会だより69号の表紙写真、テーマ(ふれあい)「そっと、つつみ込むように」は、大変好感を持てた。親近感があり、読者の目を引く表紙でした。

ユニバーサルデザイン文字で見やすい。言葉の説明もあって、理解しやすい。

議会のつぎと内容

令和4年
11月

- 1日 議会広報特別委員会 (第9回)
- 1日 議会運営委員会
- 8日 令和4年第7回議会臨時会
- 8日 総務産業常任委員会
- 8日 教育民生常任委員会
- 10日 議会だより第69号発行
- 15日 教育民生常任委員会 (団体との意見交換会)
- 16日 総務産業常任委員会 (団体との意見交換会)
- 21日 教育民生常任委員会
- 22日 栃木県町村議会議長会議員研修会(宇都宮市)
- 25日 全員協議会 (12月定例会)
- 28日 議会運営委員会 (12月定例会)

12月

- 6日～8日 令和4年第8回議会定例会
- 7日 総務産業常任委員会
- 7日 教育民生常任委員会
- 8日 議会改革特別委員会
- 16日 全員協議会
- 16日 「エコグリーンとちぎ」工事現場見学会
- 20日 南那須地区広域行政事務組合議会臨時会
- 22日 議会広報特別委員会 (第10回)

令和5年
1月

- 22日 町民と議会との意見交換会 (小川総合福祉センター)
- 26日 議会広報特別委員会 (第11回)
- 29日 町民と議会との意見交換会 (馬頭総合福祉センター)
- 31日 議会運営委員会

2月

- 2日 議会広報特別委員会 (第12回)
- 10日 議会だより第70号発行

M F J スーパーモト
最年少ライダー

(馬頭中学校2年生)
大金 歩夢さん
(小砂)



なかちゃん
が聞きました。

Q バイクに乗り始めた
きっかけは?

A 2012年(3歳)に
ツインリンク茂木で全
日本ロードレース選手
権大会を観戦したのが
きっかけ、バイクの魅
力に引き付けられたか
らだよ。保育園から帰
ると毎日自転車に乗
る練習をして、上手に
乗れるようになってか
らバイクを買ってもら
ったよ。あの時の嬉し
い気持ちは今でも覚
えているよ。

Q 何歳からレースに参
加しているの?

A サーキットデビュー
は2013年(4歳)で、
6歳からレースに出
ているよ。2015年か
らSUGO MINI+MOT
TOチャレンジに参戦し



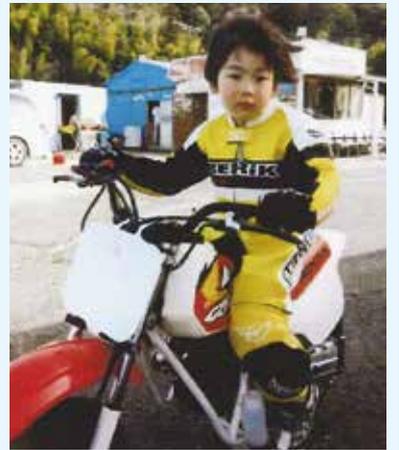
MFJ スーパーモトSUGOでの走り

A 宮城県、福島県、千

葉県、愛知県、奈良県
九州の熊本県にも行くよ。
Q 今後の目標は。
A 今はオフシーズンだ
けど、トレーニングをし
つかり重ねて、4月から
の開幕に備えること。一
歩一歩着実に、夢に向か
って努力を重ねて行くよ。

Q 上のクラスに上がる
のも目の前だね。たくさ
んの人が知ってもらい、
応援してほしいよね。
A 全日本スーパーモト
最年少ライダーとして、
格上の先輩ライダーの走
りを間近で観て、1つで
も多くの技術を吸収し自
分の力にできるよう努力
していくので、皆さん応
援してください。

て、3年連
続でシリ
ズチャン
ピオンに
なったよ。
3年連続
シリズ
チャンピ
オンの記
録は未だ
更新され
ていな
んだよ。



デビューの頃(4歳)



世界を見据え
た、すごい可能性を秘め
た中学生がいるね!皆で
応援しよう!

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。

傍聴の際には、マスク着用・手指消毒など、
感染防止対策にご協力願います。

次の定例会は、**3月2日 開会**
(令和5年第1回議会定例会)の予定です。
議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第7回11月臨時会の
議会傍聴者数

8日 1人

第8回12月定例会の
議会傍聴者数

8日 1人
7日 11人
6日 19人

蹴り始め(FCCアフレコ)

●表紙写真

極寒の夜、サッカーの
ミニゲームでゴールを決
められてしまい、おどけ
て(?)寝転んでしまった
男の子の側に駆け寄り、「
大丈夫だよー!」と励ま
しているかのように見え
た、ちょっとキュンとし
たふれあいのシーンです。

編集後記

0年を迎えます。

6月10日に開催される記
念式典を中心に、県内各地
でさまざまなイベントが展
開されるようです。「みん
なで創る、未来のとちぎ」
が県のキャッチフレーズで
す。当町で、どんなイベン
トが実施されるのか今から
楽しみます。

議会広報紙の企画及び編
集に際し、広く町民から意
見や提案を聴き、よりわか
りやすく、親しまれる内容
とするため、議会日より69
号から、新たに議会広報モ
ニターを設置いたしました。
委嘱された5名のモニ
ターさん、議会広報紙の充
実のため、ご協力のほどよ
ろしくお願いいたします。

未だ、新型コロナウイルス
感染症が拡大しています。引
き続き、感染予防に努めてま
いりたいと思います。

最後に、議会だよりのご
愛読ありがとうございます。
今後ともよろしく願
います。

議会広報特別委員会

委員 大金 清

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

